

# 2011年3月期 第2四半期 連結業績詳細

---

2010年10月28日  
住商情報システム株式会社  
取締役 常務執行役員 福永 哲弥



**住商情報システム株式会社**

Sumisho Computer Systems Corporation

---

【連結】

(単位:百万円)

	09年4月 ～ 09年9月	10年4月 ～10年9月	増減額	増減率
売上高	61,442	62,618	1,175	1.9%
売上総利益	13,872	13,536	△336	△2.4%
販管費	11,945	11,075	△870	△7.3%
営業利益	1,927	2,461	534	27.7%
経常利益	2,117	2,587	470	22.2%
四半期純利益	788	1,541	752	95.4%

【連結】

(単位:百万円)

	09年4月 ～ 09年9月 (構成比)	10年4月 ～ 10年9月 (構成比)	増減額	増減率
業務系 ソリューション	28,847 (46.9%)	32,191 (51.4%)	3,344	11.6%
ERP ソリューション	8,328 (13.6%)	6,690 (10.7%)	△1,638	△19.7%
プラットフォーム ソリューション	24,266 (39.5%)	23,736 (37.9%)	△530	△2.2%
合計	61,442 (100.0%)	62,618 (100.0%)	1,175	1.9%



# 売上高比較 -売上区分別-

【連結】

(単位:百万円)

	09年4月 ～ 09年9月 (構成比)	10年4月 ～ 10年9月 (構成比)	増減額	増減率
ソフトウェア開発	22,574 (36.7%)	21,142 (33.8%)	△1,431	△6.3%
情報処理	17,736 (28.9%)	18,049 (28.8%)	312	1.8%
システム販売	21,131 (34.4%)	23,425 (37.4%)	2,294	10.9%
合計	61,442 (100.0%)	62,618 (100.0%)	1,175	1.9%

〔受注高〕 ソフトウェア開発	25,864	23,175	△2,688	△10.4%
〔受注残高〕 ソフトウェア開発	10,319	10,280	△39	△0.4%

## 【連結】

(単位:百万円)

10年4月～10年9月	ソフトウェア開発	情報処理	システム販売	合計
業務系ソリューション	15,397	8,856	7,937	32,191
ERPソリューション	4,723	395	1,571	6,690
プラットフォームソリューション	1,021	8,798	13,916	23,736
合計	21,142	18,049	23,425	62,618

09年4月～09年9月	ソフトウェア開発	情報処理	システム販売	合計
業務系ソリューション	14,814	8,282	5,751	28,847
ERPソリューション	6,291	310	1,727	8,328
プラットフォームソリューション	1,469	9,144	13,652	24,266
合計	22,574	17,736	21,131	61,442

差額	ソフトウェア開発	情報処理	システム販売	合計
業務系ソリューション	583	574	2,186	3,344
ERPソリューション	△1,567	84	△155	△1,638
プラットフォームソリューション	△447	△346	263	△530
合計	△1,431	312	2,294	1,175

【連結】

(単位:百万円)

	09年4月～09年9月		10年4月～10年9月		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	率
製造	17,692	28.8%	14,651	23.4%	△3,040	△17.2%
流通	15,510	25.2%	14,887	23.8%	△622	△4.0%
金融	7,792	12.7%	8,908	14.2%	1,116	14.3%
銀行	3,314	5.4%	3,233	5.2%	△80	△2.4%
証券	1,261	2.1%	783	1.3%	△478	△37.9%
信販・リース	956	1.6%	2,352	3.8%	1,395	145.9%
生保・損保	2,260	3.7%	2,540	4.1%	280	12.4%
通信・運輸	8,502	13.8%	9,761	15.6%	1,258	14.8%
電力・ガス	848	1.4%	881	1.4%	32	3.9%
サービス他	11,096	18.1%	13,527	21.6%	2,431	21.9%
合計	61,442	100.0%	62,618	100.0%	1,175	1.9%

※一部データの修正があり、前年度の業種別売上金額に変更があります。

合計	+ 11 億円
増加要因	+ 56 億円
<ul style="list-style-type: none"><li>➤ 業務系ソリューション<ul style="list-style-type: none"><li>・ 金融業向け関連</li><li>・ 通信業向け関連</li></ul></li><li>➤ プラットフォームソリューション<ul style="list-style-type: none"><li>・ 通信業関連</li></ul></li><li>➤ サービス業・官公庁向け関連</li><li>➤ その他</li></ul>	+ 12 億円 + 14 億円  + 4 億円  + 24 億円  + 2 億円
減少要因	△ 45 億円
<ul style="list-style-type: none"><li>➤ ERPソリューション<ul style="list-style-type: none"><li>・ 製造業向け関連</li></ul></li><li>➤ プラットフォームソリューション<ul style="list-style-type: none"><li>・ 流通業向け関連</li></ul></li><li>➤ 09年度 整理・撤退事業関連</li></ul>	△ 21 億円  △ 17 億円  △ 7 億円



# 売上総利益分析 (対前年同期比 主要増減要因 4~9月)

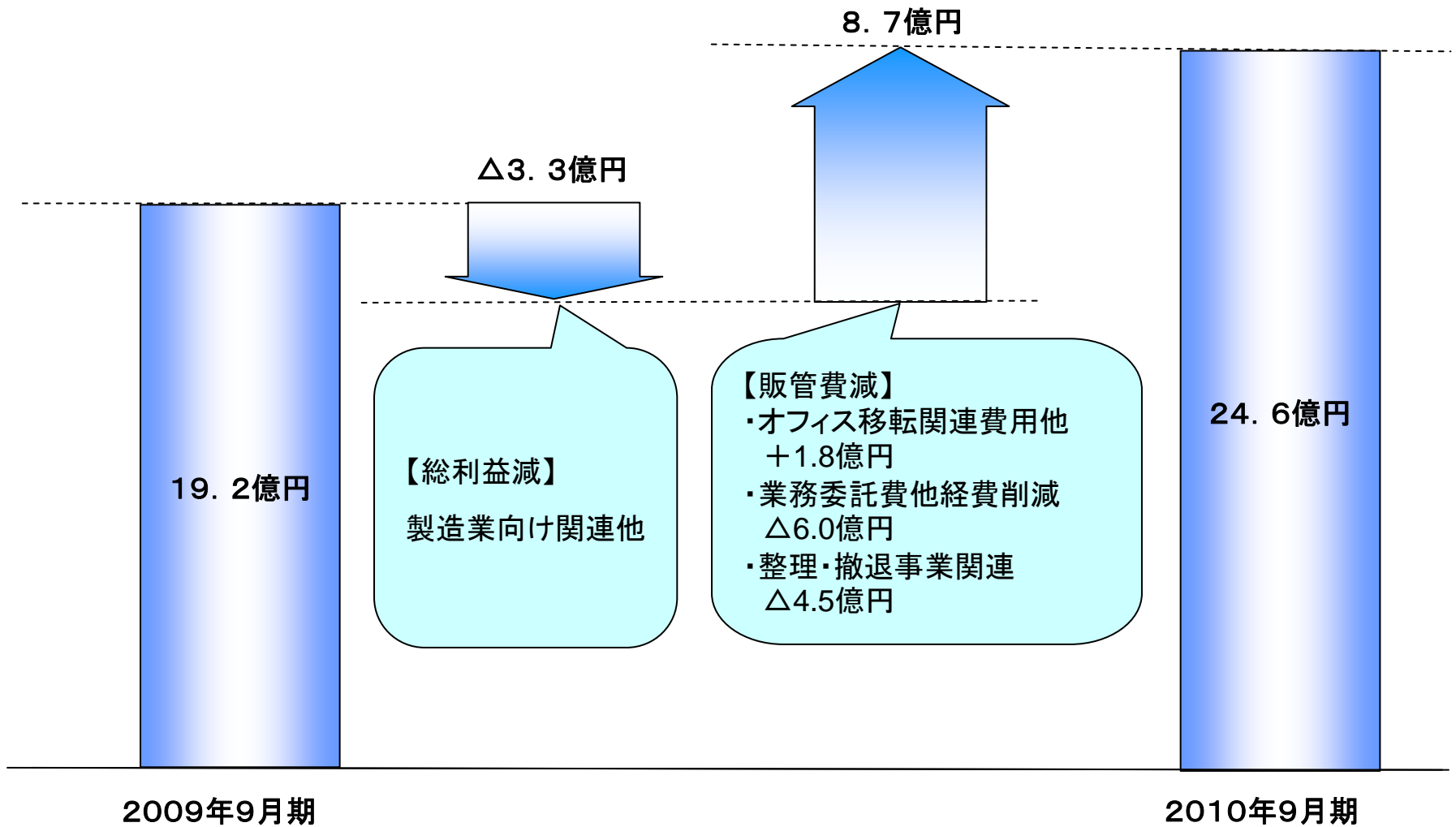
合計	△ 3. 3 億円
増加要因	+ 7. 4 億円
<ul style="list-style-type: none"><li>➤ 業務系ソリューション<ul style="list-style-type: none"><li>・ 金融業向け関連</li><li>・ 通信・運輸業向け関連</li></ul></li><li>➤ プラットフォームソリューション<ul style="list-style-type: none"><li>・ 流通業向け関連</li><li>・ 通信業向け関連</li></ul></li><li>➤ サービス業・官公庁向け関連他</li></ul>	+ 2. 1 億円 + 3. 5 億円  + 1. 1 億円 + 0. 1 億円  + 0. 6 億円
減少要因	△ 1 0. 7 億円
<ul style="list-style-type: none"><li>➤ ERPソリューション<ul style="list-style-type: none"><li>・ 製造業向け関連</li></ul></li><li>➤ 09年度 整理・撤退事業関連</li></ul>	△ 7. 8 億円 △ 2. 9 億円



# 販管費分析 (対前年同期比 主要増減要因 4~9月)

合計	△ 8. 7 億円
増加要因	+ 1. 8 億円
<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ オフィス移転関連費用</li> <li>➤ その他</li> </ul>	<p style="text-align: right;">+ 1. 3 億円 + 0. 5 億円</p>
減少要因	△ 1 0. 5 億円
<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 新基幹系システム関連</li> <li>➤ 業務委託費・研究開発費</li> <li>➤ 経費抑制(設備賃借料・教育訓練費ほか)</li> <li>➤ 09年度 整理・撤退事業関連</li> </ul>	<p style="text-align: right;">△ 0. 9 億円 △ 4. 8 億円 △ 0. 3 億円 △ 4. 5 億円</p>

# 営業利益分析 (対前年同期比 主要増減要因 4~9月)



【連結】

(単位:百万円)

	10年4月 ～10年9月 修正後予想	10年4月 ～10年9月 実績	差異
売上高	64,000	62,618	△1,381
営業利益	2,100	2,461	361
経常利益	2,100	2,587	487
四半期純利益	1,200	1,541	341

## 事業環境

- 経済全般  
年度当初は景気持ち直しの動きがあり、企業業績も回復基調  
その後、欧米での景気下振れ懸念、円高の進行、さらには、近時の近隣国との政治問題表面化を受け景気動向ならびに企業の先行き見通しは以前にもまして不透明化
- ITサービス産業  
ITプロダクト(ハード・ソフト)への更新投資は堅調  
ソフト開発投資にかかる案件数は相応に存在するものの、顧客企業はきわめて慎重な投資取組姿勢を継続

## SCSへの影響

- ITプロダクト販売ビジネスは堅調に推移
- ソフト開発投資案件における相応のディールフロー
- 受注期間の長期化

流通・製造  
ソリューション事業

- ・ ソフト開発事業については、ディールフローは活発化。しかしながら、今後の景気動向並びに企業業績の先行きにつき不透明感が強まる中、ソフト開発投資にかかる意思決定は依然慎重。
- ・ システム販売事業では、企業のITプロダクト投資に関し、現場の裁量で実施できる一定限度額以下の更新投資については、堅調に推移。新規投資、あるいは高額なITプロダクト投資には顧客は慎重姿勢。

金融・ERP  
ソリューション事業

【金融】

- ・ 証券業を除いては事業動向は堅調。
- ・ 各セクター共通に、経営統合関連のディールフローが今後活発化する見込。
- ・ 証券業では、コスト低減に重きが置かれIT投資は低調に推移の見込。

【ERP】

- ・ 案件数は相応にあるものの、案件規模の縮小や案件検討期間の長期化などの傾向が続いており、受注環境は厳しい状況。しかしながら、中大型案件も顕在化しており、下期以降に期待。
- ・ IFRSについては、一部大手企業における早期適用の動きがあるものの、案件化が本格化するのとは来年度以降の見込。

グローバル  
ソリューション事業

- ・ 日系企業の海外拠点向けビジネスについては、現地経済環境の悪化などを受け、顧客企業のIT投資への慎重な取組姿勢が継続。
- ・ 日系企業の海外(アジア地域)展開プロジェクトに対しての現地支援の取組強化。

プラットフォーム  
ソリューション事業

- ・ IT(ネットワーク・セキュリティ)基盤構築における幅広い分野でのITプロダクトへの更新投資を中心に、IT投資の回復基調継続。
- ・ クラウド・仮想化関連でのビジネスも引き合いの増加が見られるなど活発化。
- ・ データセンターはクラウドビジネスの広がりとともにニーズは上昇。

# 社外売上高・営業利益(セグメント別)

(単位:百万円)

ソリューション分類	セグメント	概要	10年4月~9月 社外売上高 セグメント利益
業務系 ソリューション	流通・製造 ソリューション事業	流通・製造業を中心とした、業種固有のシステムニーズに対応したITサービスの提供を行なう事業	17,524
			600
ERP ソリューション	金融・ERP ソリューション事業	金融業固有のITニーズに応えるとともに、一般企業向けに、自社開発のパッケージソフトである「ProActive」他のERPシステムの提供を行なう事業	12,419
			123
プラットフォーム ソリューション	グローバル ソリューション事業	住友商事グループを含む、グローバルに事業を展開する顧客に対し、当社の海外ネットワークを活用したITサービスの提供を行なう事業	6,108
	プラットフォーム ソリューション事業	顧客の業務システムを支えるIT基盤の設計・開発から保守、また、データセンターを活用してのシステム運用まで、ITインフラの構築・運用サービスの提供を行なう事業	23,376
	その他	国内の地域拠点における一般企業向けのITサービスの提供を行なう事業等	1,394
<b>全社</b>			3,188
			△91
			62,618
			2,461

※全社のセグメント利益2,461百万円には、各セグメントに配分していない全社費用等が△265百万円含まれています。

ProActive	10.08.19	「ProActive E <sup>2</sup> 」の最新版で 電子記録債権(電子手形)の管理・決済へ対応
	10.08.26	電気興業株式会社のグループ共通会計システムとして 「ProActive E <sup>2</sup> 」が本番稼働
	10.09.16	「ProActive E2」の最新版で年末調整電子申請機能を提供
	10.09.30	日本ケンタッキー・フライド・チキン株式会社の 新会計システムをProActive E <sup>2</sup> を導入し構築中
	10.10.26	株式会社ヴィア・ホールディングスグループ 11 社の グループ共通業務システムとして「ProActive E <sup>2</sup> 」が本番稼働開始
	クラウド	10.08.09
10.10.18		ファルコンストアと仮想化・クラウドの事業継続計画分野で協業
Curl	10.08.05	64bit版OS対応のエンタープライズ向けRIA開発環境 「Curl Development tools for Eclipse」最新版を提供開始
	10.08.25	株式会社ベーシック、リッチクライアントCurlを用いた 情報コミュニケーションツール「Meeting Board」の最新版を公開

ERP	10.07.07	新日本空調株式会社の勤怠管理システムとして「SHARE/OTM」が本番稼動
	10.09.28	Web給与明細閲覧システム【SHARE/Pay Ver.4.0】を発表
サーバ	10.08.04	マラソンテクノロジーズ社製Windows Server向け高可用性ソフトウェア「Marathon everRun FT-2G」が日本IBMの「フォールトトレラント(FT) 太鼓判構成」にラインアップ
ネットワーク	10.07.06	高精度帯域制御装置 PureFlow® GS1 シリーズ 累計販売台数3,000 台、導入企業数500 社達成
	10.09.29	企業や組織のネットワークの課題を解決しネットワーククオリティを向上するフレームワーク『QUALINETTM』(クオリネ)を発表
その他	10.10.18	禁煙・健康増進キャンペーン実施



今後とも皆様のご支援  
ご鞭撻を賜りますよう  
よろしくお願い申し上げます。